MITSUBISHI

9606R870HF3301

VAVユニット

形名

P-360VAX-DW·(-DB)〔天井・壁用〕
P-360VAY-DW·(-DB)〔床用(フィルター付)〕

取付・取扱説明書

このVAVユニットは、空調ユニットからダクト配管し空調ユニットと連動して通風路の開閉を自動制御し、室内の空調を行うものです。
取付場所により機種が異なります。

取付工事を始める前に必ずこの取付・取扱説明書をお読みください。
取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずお客さまにこの説明書をお渡しください。

ご使用の前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お問い合わせ窓口一覧表とともにお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

禁止	禁　止	分解禁止	分解禁止	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	アース線接続	アース線接続

⚠警告

- ●交流100V以外では使用しないでください。
  （火災や感電の原因になります）
- ●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。
  （火災・感電・けがの原因となります）
  修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。
- ●アースを確実に取付けてください。
  （故障や漏電のときに感電することがあります）
- ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。
  （感電やけがをすることがあります）

安全のために必ず守ること つづき

⚠注意

- ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。
  （落下によりけがをすることがあります）
- ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。
  （接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります）

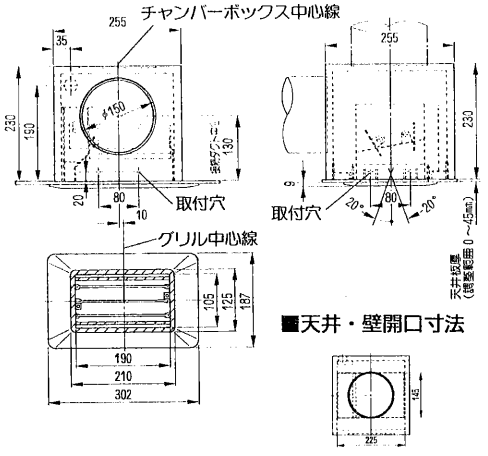
お　願　い

（床用の場合）

- ●台所・浴室・洗面所など油・水がかかるような場所には取付けないでください。
  （グリル破損の原因になります）
- ●グリルの上に物をのせたり、踏んだりしないでください。
  （グリル破損の原因になります）

外形寸法図

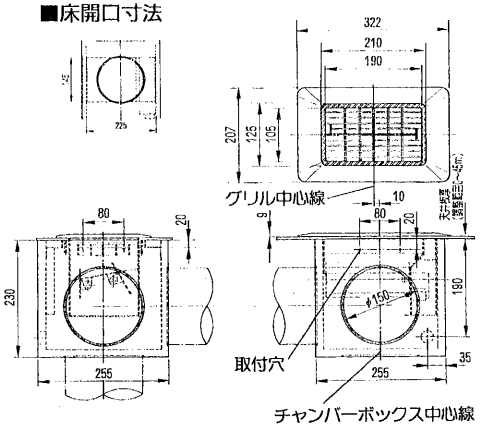
■P-360VAX-DW·(-DB)〔天井・壁用〕



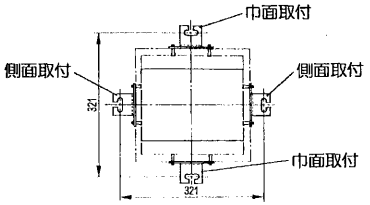
■天井・壁開口寸法

■P-360VAY-DW·(-DB)〔床用(フィルター付)〕

■床開口寸法

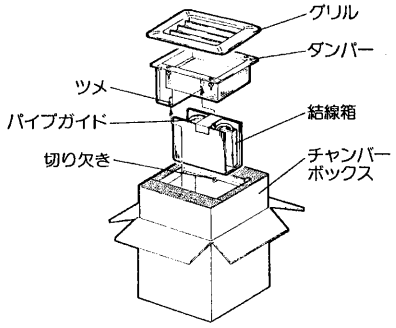


■吊り金具取付寸法



単位(mm)

開梱



グリル・ダンパー・パイプガイド・結線箱・チャンバーボックスを取り出します。

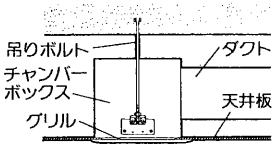
- ダンパーを取り出すとき、ダンパーを持ち上げ、スライドさせチャンバーボックスの切り欠きにダンパーのツメを合わせ、取り出します。
- グリル・ダンパー・結線箱は保管しておいてください。

付属部品

吊り金具……2個	パイプガイド……1個	固定ピース……2個	断熱材 60×650 ……1個 (パイプガイド断熱用) 55×110 ……2個 (吊り金具断熱用)
断熱材	固定ピース取付ネジ……2本	吊り金具固定ネジ……4本	野縁固定ネジ……4本
40×40(配線貫通穴シール用)…1個 150×50(吊りボルト断熱用) …2個 			

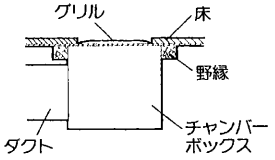
取付例

天井に取付ける場合(1階)

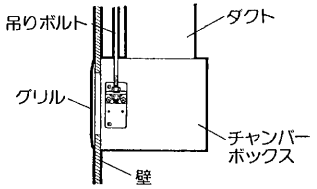


(野縁取付けもあります)

床に取付ける場合(2階)



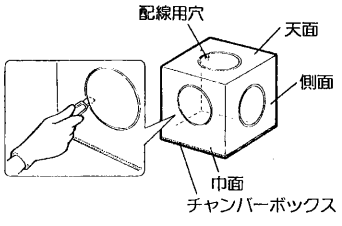
壁に取付ける場合



取付方法

1. 取付け前の準備

1



チャンバーボックスの穴開け

- チャンバーボックスの天面・側面・巾面の3か所にφ150の印がついています。
  接続方向を決め、3か所のうち1か所を印に沿って切り取ります。

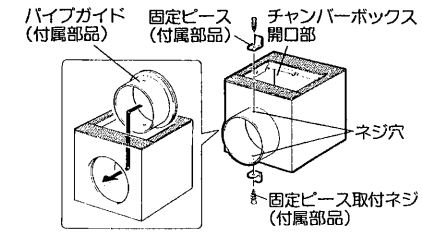
お願い

- **電源線・通信線を引き込む配線穴は、1か所だけです。配線スペースを十分確保してください。**

取付方法 つづき

1. 取付け前の準備 つづき

2



パイプガイドの取付け

1. チャンバーボックスの開口部からパイプガイドを入れ、開けた穴に押し込みます。
2. パイプガイドにネジ穴が、対称位置に2か所あります。
   パイプガイドの内側のパッキンを押しつぶすようにして固定ピースのネジ穴と合わせ、固定ピース取付ネジ(2本)でそれぞれに締付け確実に固定します。

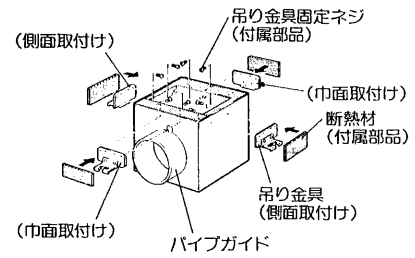
2. チャンバーボックスの取付け

…天井・床・壁に取付けます。
天井取付けの場合は、吊りボルトを使用する場合・野縁を使用する場合があります。

― 天井取付けの場合 ―

吊りボルトを使用する場合

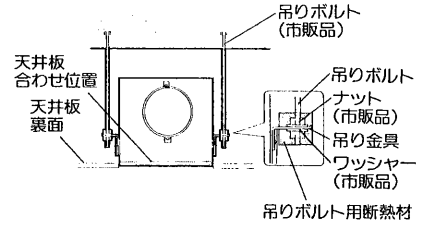
1



吊り金具の取付け

1. チャンバーボックスの内側の取付穴から、吊り金具固定ネジを押し込み吊り金具に締付け確実に固定します。
   - 吊り金具の取付けは、側面取付け・巾面取付けのどちらでもできます。
2. 左図のように吊り金具に金属面が見えないように断熱材を貼ります。

2

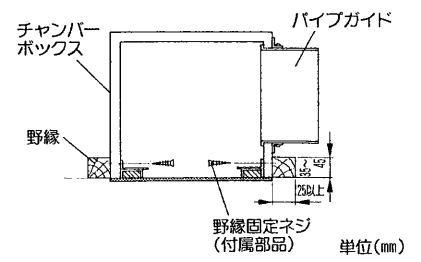


チャンバーボックスの取付け

1. 外形寸法図の吊り金具位置を参照して吊りボルトを埋込みます。
2. 吊り金具に吊りボルトを差し込み、チャンバーボックスの天井板合わせ位置に、天井板裏面を合わせてワッシャー・ナットで調節し固定します。
3. 吊りボルト用断熱材のスリット部を上からボルトに通し吊り金具を包むように巻き付けます。

野縁を使用する場合

1

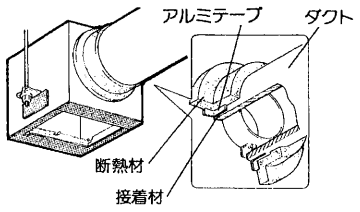


チャンバーボックスの取付け

1. 野縁を組みます。
   - 野縁は、巾25mm以上、高さ35～45mmの木材を使用してください。
2. チャンバーボックスの取付穴の内側から、野縁固定ネジを押し込み野縁に締付け固定します。
   - 巾面取付け・側面取付けのどちらでも取付けできます。

3. ダクト工事

1

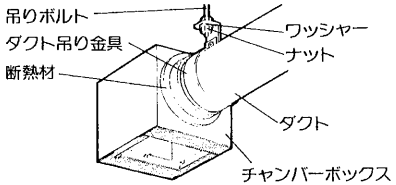


1. ダクトの端面に接着材(木工ボンド等)を塗布しパイプガイドに押し込みます。
   ●ダクトの端面がチャンバーボックスに当たるまで押し込みます。
2. ダクトとチャンバーボックスの合わせ部全周を市販のアルミテープで風漏れのないよう貼り付けます。
3. アルミテープが見えないように断熱材を巻きます。

その他のダクト接続例

ダクト吊り金具を使用する場合

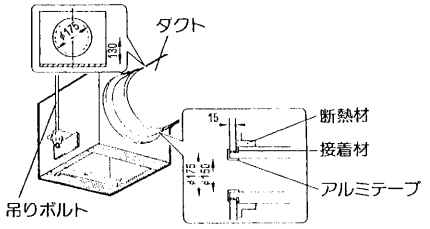
(吊りボルト1本使用)



(1)吊りボルトを1本埋込みます。
(2)ダクトの端面に接着材(木工ボンド等)を塗布しパイプガイドに押し込みます。
(3)ダクトとチャンバーボックスの合わせ部全周を市販のアルミテープで風漏れのないよう貼り付け、アルミテープが見えないように断熱材を巻きます。
(4)市販のダクト吊り金具で図のようにダクトを締付けます。
(5)チャンバーボックスの天井板合わせ位置に天井板裏面を合わせ、市販のワッシャー・ナットで調節します。

チャンバーボックスへ直接取付ける場合

(マイクロダクトのみ)

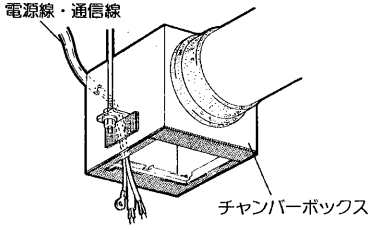


(1)チャンバーボックスの丸印のついた面(3か所)のうち1か所をコンパスなどで、φ175の円を書き線に沿ってカッターナイフで穴を開けます。
(2)マイクロダクトを図のように加工し、マイクロダクトの先端に接着材(木工ボンド等)を塗布し、チャンバーボックスにはめ込みます。
(3)ダクトとチャンバーボックスの合わせ部全周を市販のアルミテープで風漏れのないよう貼り付け、アルミテープが見えないよう断熱材を巻きます。

4. 電気工事

- 電気工事は、必ず専門の工事店さまへ依頼し、電気設備技術基準に基づき電気工事士による第3種接地工事(アース)を行ってください。
- 電源は、単相・交流100Vをご使用ください。200V電源をご使用になりますと、電流ヒューズの溶断・火災の原因となります。

1

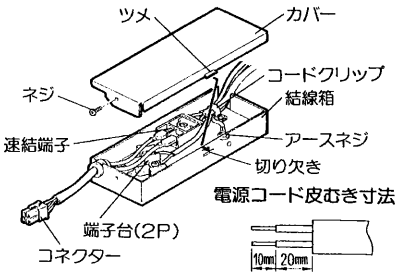


チャンバーボックスの配線口から電源線(VVFφ1.6)と、ルームコントローラからの通信線(キャブタイヤケーブル2芯0.75㎟)を引き込みます。

取付方法 つづき

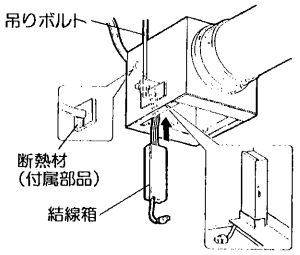
4. 電気工事 つづき

2



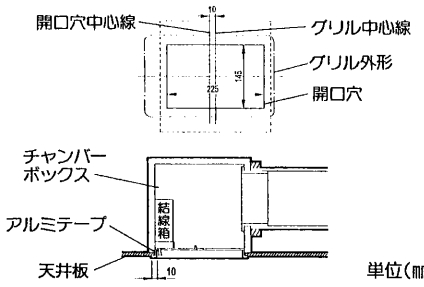
1. 結線箱のネジをはずし、カバーを取りはずして切り欠き部から電源線と通信線を引き込みます。
   電源線は速結端子に、通信線は、端子台(2P)に確実に接続します。
2. アース工事を行います。
   ●アース線は、電源線・通信線といっしょにまとめてコードクリップで止めます。
3. 結線後、カバーのツメを結線箱の切り欠きにはめ込みカバーをかぶせ元通りネジで固定します。

3



1. 結線箱のリード線をチャンバーボックスの内側の金具の穴に通し、はめ込みます。
2. チャンバーボックスの外側の配線穴にすき間のないよう配線貫通穴シール用断熱材を貼り付けます。
3. 電源線・通信線は必ず吊りボルトなどの造営材にコードバンド(市販品)により確実に固定してください。

5. 天井板(床板)の穴開け



1. 天井板(床板)張付け後、チャンバーボックスの内寸に合わせ、左図のような穴を開けます。

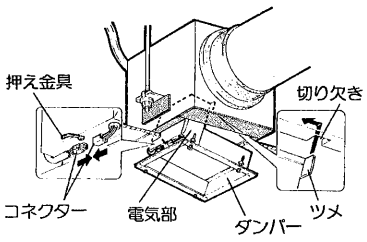
お願い

- チャンバーボックスの中にリード線がありますので傷つけないように穴を開けてください。

2. 開口部に市販のアルミテープを貼り付けます。
   ●図のようにチャンバーボックスの内側から天井板(床板)までL形に貼ります。

6. ダンパーの取付け

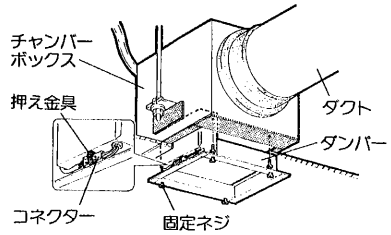
1



1. ダンパーの電気部が結線箱側になるようにして、チャンバーボックスの切り欠きにダンパーのツメを合わせて差し込み、そのままダンパーをスライドさせます。
   (ダンパーはチャンバーボックスに仮止めした状態になっています)
2. 結線箱側のコネクターと、ダンパー側のコネクターを接続し、押え金具で固定します。
3. リード線はまとめてダンパー側面に押し込みます。

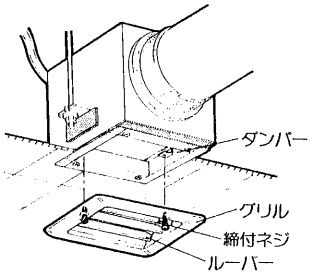
6. ダンパーの取付け つづき

2



リード線をダンパーと天井部の間にはさみ込んでないことを確認して、チャンバーボックスにダンパーを押し込み、固定ネジ(4本)で確実に締付け固定します。

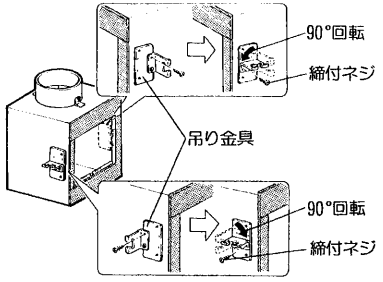
7. グリルの取付け



1. グリルをダンパーに押し込み締付ネジで確実に固定します。
2. ルーバー3本はそれぞれ単独で方向を変えることができますが、3本とも同一方向に向けて使用してください。

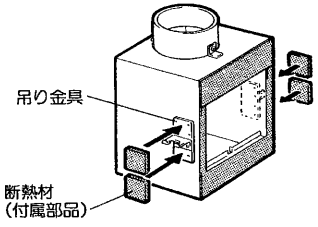
―壁取付けの場合―

■天井取付けの場合と同様に取付けますが、吊り金具の向きのみ変えてください。



吊り金具の向きの変えかた

1. 吊り金具の締付ネジ1本をはずし、もう1本をゆるめ、ゆるめたネジを軸にして金具を矢印の方向に90°回転し、ネジ穴を合わせはずした締付ネジで締付け固定します。
2. もう1個の吊り金具も同じ要領で、今度は反対の方向に回転して金具の向きを変え締付ネジで締付け固定します。
3. 吊り金具に、金属面が見えないよう断熱材を左図のように切って貼ります。

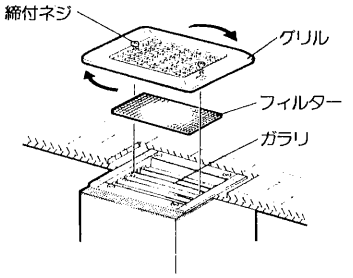


取付方法 つづき

―床取付けの場合―

■天井取付けの場合の野縁を使用する場合と同様に取付けますが、グリルの取付けのみ異なります。

グリルの取付け



フィルターをガラリの上に乗せ、グリルをダンパーに押し込み、締付ネジ(2本)で締付け固定します。

- グリルの吹出口には角度がついていますので、お好みの風方向に合わせ向きを変えてください。
  (矢印のようにグリルを入れ変えると風方向が変わります)

お願い

- グリルの上に重いものを置いたり、踏んだりしないでください。
- 45㎜以上の床板材使用の場合は、別売スペーサP-360VAY-SP75(45～75㎜対応)または、P-360VAY-SP100(75～100㎜対応)を使用してください。

お手入れのしかた

グリルの吹出口やフィルター(床用)にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約2か月に1度を目安としてグリルの清掃をしてください。清掃の際には、空調システムの運転を停止してから行ってください。

■掃除機で表面のゴミ・ほこりを吸い取ってください。汚れのひどい場合は中性洗剤を入れたぬるま湯に2、3分浸し、その後、ブラシなどで軽くこすって汚れを落とし、洗剤が残らないよう水洗いしてください。やわらかい布で水気を拭き取り、元通りに取付けます。
(強くこすったり、長時間水に浸しておくと、グリルの植毛が剥がれたり、変色の原因になります)

■フィルターは、グリルからはずし、きれいな水で軽く水洗いし、よく乾かしてください。

お願い

- ドライヤーなどで強制乾燥すると変形・変色の原因になります。
- グリル表面の植毛を破損しないようにしてください。シンナー・アルコール・ベンジンなどを使用しないでください。変形・変質の原因になります。アルカリ洗剤・熱湯・みがき粉・スプレーなども使用しないでください。
- 掃除機のノズルはグリルの表面に当てないでください。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111